

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

思いやりはすべての人間関係の根底 鎌田 浩毅 (京都大学院教授・火山学者)

1. 私にとって論語とは、火山学者としての考え方を築き、ライフワークの方向性を与えてくれた本である。30歳の初め、地質学の国立研究所に在籍していた私は、米国へ2年間の留学するチャンスを得た。渡米する直前、たまたま上司から論語について聞く機会があった。日本語の本は1冊だけ持っていこうといろいろ考えた揚げ句、私は論語を選ぶことにした。
2. 論語の一節にこうある。「むかしの学んだ人は自分の修養のためにした。このごろ学ぶ人は人に知られたいためにする」。米国でここをひもといたとき、私はひどく驚いた。学問を進める原動力は、生活や地位のため。そうした現代の科学者に蔓延している業績主義に対する批判が何と2500年も前に書かれているのではないか。当代きっての知恵者を率いていた孔子は、学者の状況を鋭く告発した。
3. しばらくして私は「夫子の道は忠恕のみ」という一句に出会った。孔子の思想を貫く道とは、内なるまごころに背かぬこと(忠)と、まごころによる他人への思いやり(恕)であるという。忠という漢字を見ると、物事の真ん中を心が貫いている。正しいか正しくないかを周りの価値や利害に引きずられずに、自分の頭で考え自分で決めていく。知的正直と言ってもよいだろう。科学研究の最も基本にある考え方である。恕の方は、他人との関係を指している。思いやりはすべての人間関係の根底にあり、他者に対する貢献へとつながる。論語に述べられている思想は、忠恕の二つの文字に集約されると理解した。

(参考:「週刊東洋経済」2009年10月17日号)

ワンポイント経営アドバイス

最強のリージョナルチェーンを目指す
横山 清 (スーパーアークス社長)

1. 2002年、食品スーパーラルズは帯広を地盤とする同業の福原と持ち株会社方式で経営統合。アークスという社名で再出発した。2004年には旭川に拠点を置くふじとも統合。2009年10月末には、札幌市を中心に28店舗を構える札幌東急ストアを買収する。単独の食品スーパーに過ぎなかったラルズは、食品スーパーの連合体・アークスに変態を遂げたのだ。横山清社長の戦略の根幹には、1つの信念がある。全国チェーンは目指さない、というものだ。「次から次へと全国首位の大手が来た。でも、みんなダメになった」。なぜか、横山社長はこう考えた。「全国展開のための戦術が誤っていたのではなく、チェーンストアが全国制覇を目指すという戦略が、そもそも誤りだったのではないか」。
2. 横山社長はアークスの目指すべき姿を「最強のナショナル(全国)チェーン」ではなく「最強のリージョナル(地域)チェーン」と定めたのだ。「富士山という単峰ではなくて、八ヶ岳のように連峰を成す経営が理想」と語る。

(参考:「日経ビジネス」:2009年10月12日号)

街の活性化策

ビジモデルの再構築

1. 約400年の伝統がある磁器「有田焼」の生産地、佐賀県有田町が不況に喘いでいる。主要顧客であるホテルや飲食業が業績不振で購入額が少なくなっているところに、2008年秋以降の消費全体の落ち込みが追い打ちをかける。しかも、これは一時的な現象ではない。佐賀財務事務所の過去10年の統計(主要企業360社)では、1999年に約131億円だった売上高は年々10%近く減少し、2008年には約65億円まで落ち込んだ。
2. これまでになかったカレー皿などの生産や、高級路線で有田焼万年筆の開発に取り組むケースも出ている。焼き物のデザインをハンカチや風呂敷などに用いる窯元もある。しかし、まだ大きな売り上げにつながっていない。百貨店向けでは売り場面積も減少している。産地としては新しい需要を開拓するビジネスモデル再構築の時代に入っている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2009年10月3日号)

古典に学ぶ

情熱を持ち続ける

「かくして情熱というものは、人間の偉大さを形づくるどころの素材であり、その基礎と言ってもよいでしょう。したがって始めから情熱のない干からびたような無力な人間は、始めから問題にならないのです。情熱のない間は、いわばでくの坊であって、何ら手の下しようがないと言えましょう」

(参考:森 信三「修身教授録抄」:致知出版社)